Technical Information 1 / 4 2024-06-28_作成 2025-01-31_更新

開発品

スクリーンインキ 反応型インキ

一般印刷 □液反応型 水性型

AQUASET-TGMインキ

AQUASET-TGMインキは、水性タイプのガラス、金属用スクリーン印刷インキです。 水性かつ原料にトルエン、キシレンやハロゲン(塩素、臭素)化合物を含まない環境に優しい、 環境対応型のインキです。

製品の特長

- 環境対応インキ
- 水以外の揮発分30%以下(中国VOC規制 GB38507対応可能)
- 原料にトルエン、キシレン、ハロゲン(塩素、臭素)化合物を含まない。
- 金属全般 (アルミ、SUSなど)、ガラス、強化ガラスへ幅広い接着性と各種耐性を持ち、幅広く応用できます。

推奨被印刷物

材質

金属、ガラス、セラミック、ハードコート処理面

アルミ

ステンレス

ガラス

カラー・グレード

標準色 (一般色)

00HLメジウム 01HL白 90HL黒

TP色

HL藍 HL青黄 HL赤 HL紅 HLピンク HL濃藍

スペック

荷姿

1kgポリボトル

使用方法

- 金属全般(アルミ、SUSなど)に印刷する場合は、 AQUASET-TGMインキ100部に対し、硬化剤AQ-1を10部、添加剤JA-1000を2部添加してください。
- ガラス、強化ガラスに印刷する場合は、 AQUASET-TGMインキ100部に対し、硬化剤AQ-1を10部、添加剤JA-1090を2部添加してください。
- 可使時間(ポットライフ)は4~6時間です。
- 希釈溶剤について、無希釈で印刷可能ですが希釈が必要な場合は 純水もしくは#4リターダーをご使用ください。

刷版

メッシュ

洗浄

200~250 最初IPA、仕上げにビニール洗用溶剤

硬化方法・硬化条件

- 単層
 - o 150°C30分
- 積層(重ね印刷)
 - 。 各層は中間乾燥として90°C10分でタックフリーにし、最終層は最終乾燥として150°C30分以上

試験データ(環境・物性・耐候性・性能など)

(1)アルミ板 (AL1050P)

条件

試験インキ	 AQUASET-TGM 01HL白 100部 硬化剤AQ-1 10部 添加剤JA-1000 2部
刷版	250メッシュ
乾燥条件	150°C30分

結果

試験項目	試験方法	結果
接着性	クロスカットテープ剥離試験	100/100
耐温水性	80°C温水4時間浸漬後、外観変化と接着試験	異常なし 100/100
耐熱性	80°C500時間後、外観変化と接着試験	異常なし 100/100
鉛筆硬度	引っかき硬度(鉛筆法)荷重750g	ЗН
耐摩耗性	学振式耐摩耗試験機 カナキン3号綿布 荷重500g	異常なし
耐アルコール性	荷重500g ラビング100回	80%エタノール:異常なし IPA:異常なし
耐高温高湿性	65°C95%RH 500時間後、外観変化と接着試験	異常なし 100/100
耐サイクル試験性	-20°C⇔65°C90%RH 500時間(12時間1サイクル42回) 後、外観変化と接着試験	異常なし 100/100

(2)強化ガラス

条件

試験インキ	 AQUASET-TGM 01HL白 100部 硬化剤AQ-1 10部 添加剤JA-1090 2部 	
刷版	250メッシュ	
乾燥条件	150°C30分	

結果

柏米				
試験項目	試験方法	結果		
接着性	クロスカットテープ剥離試験	100/100		
耐煮沸性	煮沸30分後、外観変化と接着試験	異常なし 100/100		
耐温水性	80°C温水4時間浸漬後、外観変化と接着試験	異常なし 100/100		
耐熱性	80°C500時間後、外観変化と接着試験	異常なし 100/100		
鉛筆硬度	引っかき硬度(鉛筆法)荷重750g	5H		
耐摩耗性	学振式耐摩耗試験機 カナキン3号綿布 荷重500g	異常なし		
耐アルコール性	荷重500g ラビング100回	80%エタノール:異常なし IPA:異常なし		
耐高温高湿性	65°C95%RH 500時間後、外観変化と接着試験	異常なし 100/100		
耐サイクル試験性	-20°C⇔65°C90%RH 500時間(12時間1サイクル42回) 後、外観変化と接着試験	異常なし 100/100		
耐光性	JIS K5600-7-7 参考 光源:キセノンランプ 60W/m²BPT65℃ 湿度:50±10% 連続照射1000時間	外観変化なし ΔE=0.55		

Technical Information 4 / 4 2024-06-28_作成 2025-01-31_更新

注意事項

- 可使時間 (ポットライフ) について、6時間経過後もインキの増粘 (ゲル化) は起こりませんが、 接着性や体制の低下が見られます。
- 通常のポリエステル版も使用可能ですが、硬膜処理版など耐水性の良いものの方が、 刷版の傷み、劣化は抑えられます。
- ご使用に際しての安全上の注意事項に関しては、製品の安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- 当インフォメーションに記載されている内容は予告無しに変更・改訂する場合があります。
- この特性データは、弊社の実施した評価結果に基づくもので、お客さまのご使用時の製品特性を保証するものではありません。
- 使用の際は、実際に使用される装置及び被着材での評価結果に基づき、条件を十分ご検討の上、ご使用下さい。